



Die Kunst der Geisha mit Hiroya Umekichi
Fr., 27. September, 20 Uhr
in Kooperation mit der Deutsch-Japanischen Gesellschaft zu Bremen e.V.
Kontak: U. C. Email: uc@jgk.de

Die japanische Geisha Hiroya Umekichi versteht es Geste in diesem Lande und mit ihrer vielfältigen Programmierung zu überzeugen und zu begeistern. Auf ihrem kulturellen japanischen Musikinstrument, der Shamisen, stellt sie nicht nur ihre Kunst dar, sondern auch traditionelle japanische Musikstücke sowie Songs von Beatles.

Hiroya Umekichi Bremen
Bismarckplatz 12 | 28195 Bremen
F: www.geisha-umekichi.de

うめ吉新聞



発行所
株式会社サトウ企画内
松山うめ吉後援会事務局
〒166-0015
東京都杉並区成田東
5-40-11-103

tel. 03-3391-4261
fax.03-3391-4262
E-mail: info@satoh-k.co.jp

うめ吉オフィシャルサイト
<http://www.e-jazz.net/original.html>



ブレイメン公演 9/27

うめ吉初めてのドイツ公演。80名様ご来場を想定しておりましたが倍以上のお客様にお越し頂き、大盛況のうちに終了しました。踊りに俗曲小唄、さらには全員で野球拳や盆踊りと盛りだくさんのメニューでお楽しみ頂きました。最後にドイツの「ローレライ」を日本語で歌わせていただきました。



お世話になった野田さん(右)と通訳のみどりさん
横香堂ご提供「むらさずめ」に大喜びのお2人



ブレイメンの音楽隊の像



WESER KURIE

TIPPS & TERMINE



日本が大好きなみどりさんならではの分かりやすい楽しい通訳のおかげで会場も打ち解けた雰囲気になりました。

通訳をしてくださった日独ハーフのみどりさん。14歳まで日本で過ごされたそうです。ネットで「あまちゃん」を見て日本語仲間、と「えいじえ」というのが流行っているとか。

本番前に通訳の打ち合わせ



ステファン(左)さんとシリルさん
スイスのジュネーブ、シリルさんの通訳で。



パリの日本文化会館前で、電楽師匠。

9/20は落語を題材にした漫画「どうらく息子」フランス語版出版記念イベント。いつも日本から同行して通訳をして下さるシリル・コビーニさんが「尻流複写」として、またフランス在住のステファンさんも出演しての異色の落語会でした。最後は9/25パリの日本文化会館の小ホール。こちらの大ホールは昨年桂文枝師匠の襲名披露公演が行われた所です。今回の落語会のチケットも早々に売り切れましておつたので、今回はこの日に観光も楽しむことが出来て充実のツアーになりました。

ヨーロッパ落語会
フランス・スイス
9/17~9/25

昨年に引き続き三遊亭電楽師匠とのヨーロッパ落語会ツアー。今年はフランスのエクサンプロバンスとパリ、スイスのジュネーブへ。どれも日本文化に対する興味を持ったお客様でいっぱいそして行く先々で関係の皆様からはあたたかいおもてなしを受け、感謝感謝のツアーでした。

東京岡山県人会 9/6



司会でおなじみの押坂忍さん イベントで度々ご一緒にいます

ホテルオークラにて開かれた、「東京岡山県人会」に参加しました。久しぶりにお会いする方、初めての方もすぐに打ち解けるのは、やはり同郷のよしみでしょうか。



フレッシュ岡山の 矢部さん

特産の マスカットとピオーネ 最高でした



岡山県の キャラクター ももっち・うらっち キジ・猿・犬

岡山県知事の 伊原さん なんとうめ吉と同じ歳 だそうです!



衆議院議員の 逢沢一郎さん

来年春の うめ吉ツアーで訪れる 高梁市の近藤市長 うめ吉ツアー よろしくお願ひします

参議院議員の石井正弘さん 石井さんが岡山県知事をされていた時に 岡山県きもの文化人(ぶんかびと)の 県知事賞を頂きました

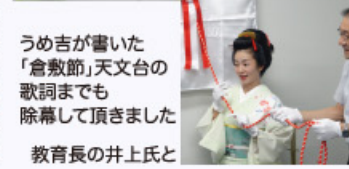


真ん中は東京県人会会長橋本様(高梁市ご出身) 左の佐藤様は円輔師匠と大学の同級生だそうです(高梁市ご出身)

倉敷天文台へ



倉敷市副市長さんらによる 除幕式



うめ吉が書いた 「倉敷節」天文台の 歌詞までも 除幕して頂きました 教育長の井上氏と

7/31

一般の人々が望遠鏡を覗く事の出来ない大正時代、原澄治氏(倉敷名誉市民)によって創設された全国初の民間天文台です。世界的天文家故・本田実氏が長年勤務した事でも知られています。北原白秋、町田嘉章によって1936年に作られた「倉敷節」。SPレコード(テイチク)は美ち奴さんによる歌で、倉敷美観地区の新溪園でお披露目されたこの曲の5番にも天文台は倉敷の名所として歌われています。2007年にうめ吉がこの曲をカバーしてテイチクからリリース。この度天文台の老朽化に伴いライブパーク倉敷に移設、元の場所には新しい天文台が完成しました。原様と倉敷節のご縁でその除幕式にうめ吉も参加しました。



原圭一郎氏(原澄治氏のお孫さん)と

2014年 うめ吉ツアー決定



高梁市 たかはし



西江邸でベンガラ染めに挑戦、綺麗なピンク色に染まりました。

吹屋の町並み

来年のうめ吉と行くツアー第9弾の日程は4/4(金)〜4/6(日)に決定しました。旅行先の岡山県高梁(たかはし)市は美しい山々に囲まれた盆地。その中央を高梁川が流れま。備中の中心地として栄えたこの地を2泊3日かけてたっぷりとうめ吉がご案内。ベンガラ(漆器や建築に使われた赤色の顔料)で栄えた吹屋(ぶきや)地区や児島虎次郎の作品が多数ある成羽(なりわ)美術館、大原美術館でお馴染みの画家児島虎次郎は成羽の出身、オープンでは日本一高い所に現存する備中松山城や紺屋川のお花見も。ベンガラで財を成し、18代当主のご案内による邸宅内見学とベンガラ染め体験が出来る西江邸、横溝正史映画のロケ地として有名な広兼邸にも訪れます。2泊ともにラ・フォーレ吹屋に滞在しながらゆっくりお楽しみ頂けます。

ラ・フォーレ吹屋の隣に建つ旧吹屋小学校(岡山県指定文化財)を、うめ吉ツアーの皆様のために夜間ライトアップいたします。高梁市と言えばこの方、山田方谷やまだほうこく。江戸時代末期から明治時代初期の漢学者、備中松山藩士です。学者として藩に仕えていた方谷でしたが、藩主板倉勝静のもとで藩政改革を断行し、大きな成功をおさめました。勝静が幕府の老中となると、その政治顧問として幕政にも関与しました。また、藩校有終館や方谷自身の私塾、明治以降には備前の関谷精舎(関谷学校)などで多くの子弟を教え、備中松山藩を支えた人々を育てています。越後長岡藩の河井継之助のように他藩から来遊する者も数多くありました。いま、山田方谷をNHK大河ドラマに、という運動が広がっています。



7月にツアー添乗員の藤井さんと高梁市の職員の方のご案内で下見を敢行。高梁ははじめてのうめ吉。想像を超える高梁の魅力にすっかりはまってしまいました。当初は倉敷市観光と高梁市観光とで2泊3日を考えていましたが、それぞれじっくり深く観光して頂きたいということに。じっくり倉敷市観光は再来年のお楽しみに。うめ吉ツアー(ご旅行)はどなたでもご参加いただけます。

山田方谷の直系子孫にあたる野島透氏(著書に「山田方谷の夢」)と



山田方谷像(高梁市郷土資料館前)



以前にも呼んで頂いた新潟の料亭老舗の「小三」よりお声がかかりました。今回も、地元のお芸者さん達とのお座敷と共演です。地方(じかた)さんのおともしつかりした芸で新潟のお座敷の質の高さを堪能。
早速、売れっ子の若手芸者あおいさんと仲良しになりました。私のCDをお持ちだそうでハガキにサインを差し上げました。



小三スペシャル
「華の宴 夏の陣」
9/7



お座敷風の曲から懐かしの昭和歌謡まで一緒に唄っていただきました。



鳴りものミカド香奈子さんと

栃木県小山市にて、敬老の日にちなんだイベント「江戸の情緒を平成にうめ吉の世界」が開かれました。鳴りものミカド香奈子さんと一緒に出演、600人のお客様にタップリと楽しんで頂きました。
小山市では「ねんりんピック栃木2014」を予定しており、シルバード世代がお元気で。(ねんりんピックとは豊かな知識と経験を積んだ高齢者を中心に、スポーツ・文化などの総合的なイベントで、毎年、全国各地を回り、開催されています。)

江戸の情緒を平成に
うめ吉の世界
9/11

つなぐ通信で検索!
http://tsunagu-t.com/pc/current_n/
←倉敷市の広告も掲載していただきました。

つなぐ通信で検索!
http://tsunagu-t.com/pc/current_n/
←倉敷市の広告も掲載していただきました。

大人がときめく、生き方マガジン「つなぐ通信」(フリーマガジン)よりうめ吉がインタビュー取材をうけました。最新号の特集は「和の文化を未来につなぐ」。新しい表現に挑みながら伝統芸能をつなごうとしているアーティストとして、うめ吉が3ページに渡って掲載されています。
「つなぐ通信」はWEBマガジンとしてパソコンでもご覧いただけます。



編集長の成田さんに取材を受けるうめ吉 神楽坂「味麗」にて

冊子「つなぐ通信」
インタビュー掲載

Smoky Time ②
煙管

三味線を弾き、江戸から昭和にかけての昔の歌をうたう芸人「音曲師」として活躍する山田うめ吉さん。歴々の日本舞も自ら編み、365日無間道で過ごす日本文化を愛するうめ吉さんにとって、最近気になる存在が煙管だといふ。その昔煙管や、煙管の魅力について聞いてみた。

私は音楽を中心に、三味線を弾いて歌をうたう前を始める。「音曲師」、音楽のある日は自分で煙管を吸い、この煙管の音に乗って音節してあります。

今でこそ毎日吸っている私ですが、日本文化に魅了されたのは二十歳過ぎ、生まれたのは普通のサラリーマン家庭で、昔の事といえばピアノやクラシックが、音曲師の代から熱心なキリスト教徒というところから、神社にお参りすると五三を吸うことも、お友だちが吸いながら音節を吸い出している様子やうめ吉さんを見て煙管が大好きです。

吸った煙管から上りて数年たったころ、うめ吉さんご自身の煙管で音節を吸い出され、それこそ人生が変わるような衝撃を受けました。これまで吸っていた三味線音、昔の美しい「音節」、私は日本に生まれながら、日本人にならなかったんだ!という思いが、日本人としての自分を改めてみたいと考えようになりました。

本日は芸者さんになられたのですか? 「花柳界などには入りませんが、音節の反響にあって初めて、ならば三味線を弾く仕事に就くわけだということ、音節のお嬢さんを始め、音節のお嬢さんから、縁あって今の音節師としての活動に入っていたのです。

手にした煙管の繊細な美しさに驚いて
最新号の「つなぐ通信」のお嬢さんは、年配の方でした、い



2014年撮影したうめ吉さん、お嬢さんとの写真(山田うめ吉)

つなぐ通信の特集は「和の文化を未来につなぐ」。新しい表現に挑みながら伝統芸能をつなごうとしているアーティストとして、うめ吉が3ページに渡って掲載されています。
「つなぐ通信」はWEBマガジンとしてパソコンでもご覧いただけます。

「拓うげ製作所」
インタビュー掲載

「ひととき」(発行: 味麗ウエッジ)は新幹線ホーム売店や車内、大手私鉄や地下鉄売店で販売されています。

新幹線グリーン車内の各座席ごとに毎月掲載されている、旅の月刊誌「ひととき」11月号に、うめ吉の紀行文が掲載されます。京都、大河内山荘などについてのうめ吉の語り、いつもとはひと味違う文体のエッセイをお楽しみ下さい。

JR東海旅冊子
「ひととき」
うめ吉エッセイ掲載



おてもやんが惚れた音節師の「音」に惚れます。

からだで作る
芸の思想

稽古の積み重ねによってからだに刻み込まれる和の「芸」についての対談書「からだで作る「芸」の思想」という本が出版されました。第三部「独り、芸を生き通す」の座談会にうめ吉も参加しています。

剣術、能、寄席の芸。それぞれのみにちにおいて体得したものを語り合い、掘り下げる。(帯裏面より)

「からだで作る芸の思想」
うめ吉座談会 掲載

「ぶっかけうどんいけそうですか?」「もちろんです!」



うめ吉ファンの中には13杯も食べた強者も!

くらモニちゃんと古市社長



ぶっかけうどん最高です!



うどん日本一決定選手権
U-1グランプリ応援
8/24
8/25



松山市のよしあきくんと。

東家と同じ町内でもありませんから、うめ吉の応援にも熱が入り両日とも朝一番の列に並んでの応援。売上数とアンケートによる評価で競います。結果は売上部門第一位・おめでとございませす。評価部門は惜しくも第三位でした。

瀬戸内フェア 2013 8/31

早瀬所長さんと錫木さん
中核市東京事務所「のご当地じまんフェア」が都庁にて開催されうめ吉も応援にかけつけました。うめ吉のブログを見てたくさんの方が来てくださいます。うめ吉も大感激。土日は都庁が閑散としていてあまり売り上げも伸びないのですがこの日は倉敷市東京事務所さんも在庫を心配するほど大盛況でした。モネの睡蓮の絵が描かれた素敵な缶入りの大原美術館オリジナルサブレは一番高い商品にも関わらず大人気でした。



うめ吉のお客様にもたくさん食べにきて頂き、お腹いっぱいのを応援ありがとうございます。 **ご当地じまんフェア 6/22**



踊りは「なすとがぼちゃ」

すっかり恒例となりました。浅草は老舗のどげう屋「飯田屋」さんにて、ヨーロッパ公演の報告会です。音楽師匠と一緒した落語会の道中おもしろ裏話、ドイツブレメンでは空港出口の荷物チェックでひとりつかまってしまった話など、エピソードは盛りだくさん。極めつけはブレメンへ後から駆けつけた佐藤社長の飛行機乗り遅れ事件で落ちがつかました。現地で唄おうとした「新土佐節」は、通訳で同行したシリルさんに「それはフランス語に訳せません」と却下されてしまいました。せっかくなので飯田屋さんで披露。



お馴染みの野球拳 プレーメンのぬいぐるみは誰の手に?

ヨーロッパ報告会 @どげう飯田屋 10/6



うめ吉 **ブレメン公演 DVD**
公演 うめ吉オフショット写真集
ご希望の方にお分けいたします。
当新聞のみでお知らせしています。
3,000円
(株)サトウ企画
fax: 03-3391-4262
tel: 03-3391-4261
mail: info@satoh-k.co.jp



「きりぎりすは羽でなく、蝉は腹でなく、私はあなたの胸でなく。日本ならではの虫を愛する情緒は海外では難しいようです。そんなたくさんの面白エピソードを交えながらの唄と踊り、アットホームな雰囲気でもなさまとの質問コーナーも楽しく盛り上がりました。恒例の野球拳のお土産は演奏中もうめ吉の隣にちよんこと飾られていた可愛いブレメンの音楽隊のぬいぐるみです。帰りの飛行機内に忘れてしまったお土産のチュリップの球根も、無事に皆様のお手元へお渡しすることができました。

寄席スケジュール
○10月下旬前半(10月21日~25日)
浅草演芸ホール 昼の部(15時55分頃)
○11月中席前半(11月11日~15日)
浅草演芸ホール 夜の部(18時30分頃)
寄席お問い合わせは各演芸場まで
浅草演芸ホール(03-3384-1654)
国立演芸場(03-3265-7411)

○12月22日(日)
第370回 国立名人会
出演 松山うめ吉 桂歌丸 他
会場 国立演芸場
時間 開演18時

○11月17日(日)
春風亭小柳枝 一門会
出演 松山うめ吉 春風亭小柳枝 他
会場 池袋東京芸術劇場小ホール2
(シアタウエスト)
時間 開演13時 開演13時30分
木戸 前売り 3000円
当日 3500円
チケットお申込(株)サトウ企画
03-3391-4261
メール、お電話にてお名前、チケット送付先ご住所、電話番号、ご希望枚数をお知らせ下さい。

落語会
○11月16日(土)
サンタナ ライブ
今年で4回目!アットホームで楽しいライブが今年もやってくる!美味しいイタリアンも醍醐味です。
出演 うめ吉 直兵衛 ミカド香奈子
会場 レストラン「サンタナ」
(神奈川県 JR平塚北口から徒歩3分)
時間 開演18時 開演19時
料金 3500円
(懇親会 別途3000円(自由参加)
お問合せ) 0463-21-6915

神楽坂 味扇 (あじせん)
月に数回、うめ吉が出演しています。
※必ずお問い合わせとご予約をお願いします。
03-3267-9594